



日進北小だより

平成28年6月1日 6月号 第3号

電話 048 (663) 1842 FAX 048 (663) 9884

<http://nisshinkita-e.saitama-city.ed.jp/>

学校教育目標 ; ○進んで学ぶ子 ○思いやりのある子 ○健康な子

6月は「いじめ撲滅強化月間」です

校長 中村 勝光

先日の音楽朝会は、5月の歌「学校坂道」をみんなで歌いました。そこで、6年4組が本校の良いところを取り入れた替え歌を披露してくれました。次のとおりです。「この五叉路をのぼったら 僕の学校があります 友達いっぱい 給食おいしい あいさつあふれます 自慢の校歌は2パートに分かれます 日北小は楽しい学校 ぼくたちの自慢です」。自分たちの学校の良いところをこのように思っているんだなあ、と感心しました。自分たちが良いと思っていることは、きっと守ってしてくれるでしょう。

さて、6月は「いじめ撲滅強化月間」です。これは、さいたま市のすべての小・中・高等・特別支援学校において、いじめ問題について考え、いじめが起きない集団や学校を作ろうとする意識を高め、児童生徒の豊かな人間性や社会性を育む取り組みの充実を図るなど、いじめの未然防止に向けた取り組みを推進するものです。この時期は、特に児童生徒がストレスを抱え込みやすく、学校生活に適應できない問題が発生しやすい時期であり、いじめも増加してくる時期でもあります。そこで、このような取り組みを行っています。

その取り組みの一つとして、7日の朝会で私が全校児童に向けて「いじめ」について二つのことを話します。一つ目は、「遊びでも暴力はだめ」ということです。「戦いごっこ」などでぶったり、けったりして遊んでいる人がいます。ぶっている人は「楽しい」と思っていますが、やられている人は「いやだなあ」と思っていることが多いです。だから、ぶったり、けったりは「遊び」ではなく、いけないことです。「ばか」、「死ね」などの「とげとげ言葉」も同じです、と指導します。

二つ目は、「相手の気持ちを考える」ということです。例えば、「戦いごっこ」などで、自分が一方的にぶたれたら、「いやだなあ」と思うでしょう。そのように相手のことを考えると、ぶったりはできません。相手の気持ちを考えて、話したり、行動したりしましょう、と指導します。

本校では、職員、学校評議員、PTA会長、その他関係機関の方々でいじめ対策委員会を各学期に1回程度行います。これは、広く保護者や地域の方々からご意見をいただき、いじめ防止等を実効的に行うものです。また、教育相談週間（6日～10日）を設け、担任が児童一人ひとりと個人面談を行い、悩み等を相談します。

6年4組が作ってくれた替え歌にあるように、「日北小は楽しい学校」とすべての児童が思える学校にしたいです。そして、いじめがないことも「ぼくたちの自慢です」と言えるようにしたいです。